

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-203	高等学校	商業	ビジネス実務	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7実教	商業 345	ビジネス実務 新訂版		

1. 編修の基本方針

- ・ 商業及び生活との関連を重視する態度を養う観点から、ビジネスの場面を想定した記述にした。
- ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、実践的な学習用に「ロールプレイング」「実習」を掲載した。
- ・ 自主及び自律の精神を養う観点から、章の終わりに章の内容の理解度を問う「確認問題」を掲載し、自学自習に取り組めるようにした。
- ・ 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、専門用語には英語訳を併記した。

2. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見返し	職業及び生活との関連を重視する観点から、実際のビジネスの場面で用いられるビジネスフレーズを選別して記述した（第2号）。	巻頭①
	伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、日本の伝統的算数教具であるそろばんが世界的に評価されていることについて記述した（第5号）。	巻頭④
第1部1章	職業及び生活との関連を重視する観点から、生徒がビジネスの場年をイメージしやすいように、イラストを活用し、ビジネスの場面の代表的な場面について記述した（第2号）。	p. 7
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、公私混同をしないことや時間管理を行うことの重要性について記述した（第3号）。	p. 10
	正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、チームの一員として働く心がまえの項目で、「全員参加の社会」の実現が推進されていることを記述した（第3号）。	p. 12
第1部2章	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、ビ	p. 14～53

	<p>ビジネスマナーを身につけやすくするため、詳細なイラストを適宜掲載した（第3号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、ビジネスマナーを本文記述で説明するだけでなく、ロールプレイングを活用して実践的な学習ができるようにした（第1号）。</p> <p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国で定着している各種の食事のマナーについて記述した（第5号）。</p> <p>他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、弔事のマナーの項目において、本書で記述している形式が一例であることを明記した（第5号）。</p> <p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、面接試験において求められる社会人としてふさわしいマナーについて記述した（第3号）。</p>	<p>p. 28, 34, 35</p> <p>p. 38～41</p> <p>p. 46</p> <p>p. 50～53</p>
第1部3章	<p>創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、項目ごとに実習を掲載し、実習を通じて適切なビジネスコミュニケーションの方法を学べるようにした（第2号）。</p> <p>豊かな情操と道徳心を培う観点から、苦情対応の項目では、苦情を受けた際の心の持ちようについて記述した（第1号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、ビジネスコミュニケーションの一形態として、ビジネス文書を扱う業務について記述した（第1号）。</p>	<p>p. 57, 59, 61</p> <p>p. 68～69</p> <p>p. 74～83</p>
第1部4章	<p>勤労を重んずる態度を養う観点から、オフィス業務の章の導入として、業務の進行方法の原則をまとめて記述した（第2号）。</p> <p>生命を尊び、自然を大切にすることを観点から、オフィス環境の整備の項目で、自然光の利用について記述した（第4号）。</p> <p>職業及び生活との関連を重視する観点から、給与計算の方法の項目では、従業員が受け取る給与の支払明細書の例を示しながら、給与計算について記述した（第2号）。</p> <p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、会議サービスの利用方法だけでなく、その目的や背景についても記述した（第1号）。</p>	<p>p. 84～85</p> <p>p. 90</p> <p>p. 107</p> <p>p. 113</p>

第1部5章	<p>公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、税の申告と納付の項目の導入として、税の意義について記述した（第3号）。</p> <p>勤労を重んずる態度を養う観点から、申告書の作成見本を掲載し、申告書の作成業務を想起しながら学習できるようにした（第2号）。</p>	<p>p. 116</p> <p>p. 126, 127, 129, 137, 139</p>
第2部序章	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国におけるそろばん及びそろばん教育の歴史について、詳細に記述した（第5号）。</p>	<p>p. 142～143</p>
第2部1章	<p>勤労を重んずる態度を養う観点から、合理的な数の扱い方の項目で、ビジネスで扱う数について記述した（第2号）。</p>	<p>p. 145</p>
第2部2章	<p>勤労を重んずる態度を養う観点から、ビジネスにおいては観察定位法を用いた計算が有用であることについて記述した（第2号）。</p>	<p>p. 195</p>
第2部3章	<p>職業及び生活との関連を重視する観点から、暗算が日常生活においても活用できることを記述した（第2号）。</p>	<p>p. 200～202</p>
第3部 国際化とコミュニケーション	<p>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、自国の文化を見直す一つのキッカケとなるよう、神社やお墓、兜についてピーターと明の会話形式で記述した（第5号）。</p> <p>また、他国を尊重する態度を養う観点から、感謝祭、復活祭など日本では馴染みの薄いアメリカの文化についてピーターと明の会話形式で記述した（第5号）。</p>	<p>p. 206</p> <p>p. 207</p>
第3部 ビジネスの会話	<p>幅広い知識と教養を身に付ける観点から、各項目ごとに PERSON TO PERSON を設け、円滑な英会話をする上で知っておいた方がよい、ベースとなる知識について幅広く記述した（第1号）。</p>	<p>p. 220, 228, 236, 242, 250</p>
第3部 ビジネスの文書	<p>道徳心を培う観点から、電子メールを送る際に、常識的なマナーとして知られているいくつかのルールについて記述した（第1号）。</p>	<p>p. 253～254</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

--

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-203	高等学校	商業	ビジネス実務	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 345	ビジネス実務 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

「ビジネス実務」の学習を通じて、ビジネスに関する知識と技術を習得させるために、以下の点に配慮した。

(1) 「オフィス実務」「ビジネスと珠算」「ビジネス英語」を項目ごとにまとめ、3部構成にした。項目の順番は、「第1部 オフィス実務」「第2部 ビジネスと珠算」「第3部 ビジネス英語」とした。

(2) 「第1部 オフィス実務」では、ビジネスマナーとコミュニケーションという二つの内容を整理して学習できるように、「2章 ビジネスマナー」「3章 ビジネスコミュニケーション」として、それぞれの項目で章を立てた。

(3) 「第1部 オフィス実務」では、「2章 ビジネスマナー」を学習する際に、実践的なマナーを身に付けられるように、ロールプレイング課題を掲載した。

(4) 「第1部 オフィス実務」では、「3章 ビジネスコミュニケーション」を学習する際に、コミュニケーション能力の育成を図るために、実習課題を掲載した。

(5) 「第2部 ビジネスと珠算」では、授業の導入を円滑にするために、「序章 珠算の歴史」として、珠算の歴史をまとめた章を立てた。

(6) 「第2部 ビジネスと珠算」では、計算力の向上をはかるために、それぞれの項目ごとに、「例題」「基本問題」を掲載した。

(7) 「第3部 ビジネス英語」では、英語を用いてビジネスに関する実務を行う能力を育てるために、Chapterごとに「EXERCISE」を掲載した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1部 オフィス実務 1章 企業の組織と人間関係 2章 ビジネスマナー 3章 ビジネスコミュニケーション 4章 オフィス業務 5章 税の申告と納付	(1) オフィス実務 ア 企業の組織と仕事 イ ビジネスマナーとコミュニケーション ウ オフィス実務と情報化 エ 税の申告と納付	p. 6～139	(39) 5 10 8 10 6
第2部 ビジネスと珠算 序章 珠算の歴史 1章 計算の基礎 2章 珠算 3章 暗算	(2) ビジネスと珠算 ア 計算の基礎 イ 珠算 ウ 暗算	p. 142～202	(33) 5 8 14 6
第3部 ビジネス英語 国際化とコミュニケーション ビジネスの会話 ビジネスの文書	(3) ビジネス英語 ア 国際化とコミュニケーション イ ビジネスの会話 ウ ビジネスの文書	p. 204～285	(33) 7 12 14
		計	105

